
提 案 書

令和9年度広島県予算について



音戸の瀬戸公園の再整備 イメージパース



呉市・広島大学Town & Gown Office開所記念式典

広島県 呉市

28 広島県全域における水道水の安定的供給の推進

上下水道部

提案の要旨

老朽化した水道管の更新が県全域で着実に実施されるよう、推進に向けた取組の強化をお願いします。

現状及び課題

水道は、人が生きる上で欠かすことのできない重要なインフラであり、市民生活や産業活動を根底から支える社会基盤であることから、設置者による適正な管理が不可欠です。

これまで各市町において水道事業の整備を進め、運営を行ってきましたが、現在は広島県において令和2年6月に策定された「広島県水道広域連携推進方針」に基づき、広島県企業局と14市町（竹原市、三原市、府中市、三次市、庄原市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、熊野町、北広島町、大崎上島町、世羅町及び神石高原町）により広島県水道広域連合企業団が設立され、令和5年4月から水道事業の事業運営が開始されています。

しかしながら、広島県における水道事業は、人口減少に伴う水需要の減少や料金収入の伸び悩み、物価高騰や労務単価の上昇に伴う事業費用の増加、自然災害への対応、施設の老朽化の進行及び更新需要の増大といった課題に直面しており、経営環境は厳しさを増しています。特に、法定耐用年数である40年を超えた老朽化した水道管の割合は、水道用水供給事業を含めて30.3パーセント（令和6年度末時点）となっており、全国平均の25.4パーセント（令和5年度末時点）と比較しても高い水準にあります。

県内全域にわたり、安全・安心な水道水を安定的に供給していくためには、老朽化した水道管の計画的かつ適切な更新を進めていく必要があります。

設置から40年以上たった「老朽管」の割合(%) (※簡易水道事業を除く。)

広島県水道広域連合企業団					
竹原市	42.4	広島水道用水供給事業	64.1	広島市	32.8
三原市	37.7			呉市	34.6
府中市	41.8	広島西部地域水道用水供給事業	49.9	尾道市	32.4
三次市	19.6			福山市	31.2
庄原市	3.9	沼田川水道用水供給事業	62.8	大竹市	51.5
東広島市	23.0			海田町	20.8
廿日市市	27.6				
安芸高田市	30.4				
江田島市	22.5				
熊野町	24.4				
北広島町	20.5				
大崎上島町	27.6				
世羅町	5.3				

【出典】広島県の水道の現況（令和7年3月現在）

広島県全体：30.3%（令和6年度末時点）

こうした背景の下、近年、全国各地で水道管の破損や漏水による断水事故が相次いでおり、高度経済成長期に集中的に整備された水道インフラの多くが法定耐用年数を超えている一方で、更新が追いついていないという実情があります。

呉市においても、令和8年3月14日に江田島市江田島町で発生した水道管漏水事故の影響により、大規模な断水が発生しました。当該管路は広島県水道広域連合企業団が管理するもので、昭和53年に設置された水道用水供給事業の送水管として呉市へ水を供給する重要なライフラインでした。

この事故により、呉市において音戸町の一部及び倉橋町全域において断水が発生し、約9,100人に及ぶ市民が最大48時間にわたり影響を受けるなど、市民生活に多大な影響が生じました。また、小中学校8校が休校、公立保育所2所が休所となったほか、大浦崎スポーツセンターを始めとする市の施設12施設が臨時休館となりました。



給水拠点開設状況 : 11か所

地区	場所	開設時間
音戸地区	1 波多見小学校	3/15・3/16 午前7時～ 午後9時
	2 旧奥内小学校	
	3 早瀬簡易郵便局横	
	4 明德小学校	
倉橋地区	5 瀬戸内台(重生)	3/15 午前11時～ 午後9時
	6 藤三宇和木店	
	7 旧倉橋市民センター	
	8 須川老人集会所	3/16 午前7時～ 午後9時
	9 尾立生活改善センター	
	10 倉橋東センター	
	11 瀬戸口バス停留所付近	

※このほか、音戸市民センターに設置してある緊急時給水栓を開設し、断水期間中は24時間応急給水を実施

提案の内容

このような事故の再発防止については、広島県水道広域連合企業団に対して既に要望していますが、広島県においては知事が企業長を務める広島県水道広域連合企業団において、江田島市で起こったような事故が再発しないよう、市民の生命と生活を守るために、水道管の計画的かつ適切な更新を着実に進めていくよう指導をしていただくようお願いいたします。